

## 新救急外来棟オープン！ ～地域の救急医療を支える新たな一歩～



2024年4月10日、当院にとって待ちに待った新救急外来棟がついにオープンしました！

この新たな救急外来棟は、地域の皆様の安心と安全を守るために、救急医療の質を大幅に向上させる施設です。今日は、その背景や新棟の特徴についてご紹介します。

---

### 救急医療の充実への歩み

三重中央医療センターは、津市における2次輪番病院であり、脳卒中や心筋梗塞などの3次救急患者にも対応しています。ここ数年、津市の救急要請件数は増加し、当院が担う役割はますます重要になっています。

2021年度までは、日中の救急対応を内科や外科の医師が当番制で行っていましたが、検査や手術で手が離せないこともあり、救急車の受け入れをお断りするケースもありました。

そこで、**2022年度に救急科を新設**し、江角亮先生(救急専門医)に日中の救急対応を担当していただきました。また、初期研修医や救急救命士の増員により、救急患者を受け入れる体制が整いました。

その結果、2023年度の救急車受け入れ件数は**5,612台**に達し、津市全体の救急要請の約3分の1を当院が担うまでになりました。

---

## 新救急外来棟の特徴

旧救急室は非常に狭く、患者様や救急隊にご不便をおかけしていました。また、新型コロナウイルス対応では、仮設のトリアージ室で診療を行うなど厳しい状況もありました。

こうした中、建設された新救急外来棟には、以下のような特徴があります。

- 広々とした初療室で多くの患者様を同時に受け入れ可能
- 2つの陰圧室を完備し、新興感染症にも対応
- CT装置とレントゲン装置を棟内に設置し、迅速な診断が可能

設計段階からスタッフの意見を取り入れたことで、実用性と快適さを兼ね備えた施設となりました。

---

## 地域の救急医療を支えるために

新救急外来棟の建設にあたり、三重県や津市からのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

今後も津市の救急要請件数は増加が予想されますが、新たな施設と充実したスタッフで、地域の救急医療をしっかりと支えてまいります。

行政や医師会、救急隊、地域の医療機関の皆様と連携しながら、より良い医療提供に努めていきます。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

---

三重中央医療センター  
院長 下村 誠

---